

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	2年生	担当教員	阿部/高橋	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC730突破	時間数	170単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	2年生	担当教員	阿部/高橋	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading ブラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				授業の進め方・学習方法・課題 リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため 毎日単語チェックを行う。 また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ 問題を解くように促す。 対面授業と遠隔授業の併用実施		
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学 年	2学年	担当教員	坂上 /小林	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
実務経験教員の経歴				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学 年	2学年	担当教員	坂上 / 小林 / 寺田 / 皆川	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	A Lazy Man	要約と理解度テスト。語いの増強。
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	My New Baby Brother	
学 年	2学年	担当教員	Mark Marin / Marcos O'Brien	3	Pass the Salt, Please	
科 目 名	Reading	時間数	34単位時間	4	A Night at the Theater	
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Bad Advice	要約と理解度テスト。語いの増強。
使用テキスト名	Reading Success 4			6	The New Neighbor	
補助教材				7	At the Bus Stop	
				8	A Cruel Comment	
科目概要と科目到達目標				9	The Staff Schedule	要約と理解度テスト。語いの増強。
科目概要:ショートストーリーを読み、内容を正確に把握。 語彙を増やしながらかみ進め、サマリーを作成。 理解度確認テスト。				10	Dirty Windows	
				11	Moving	
				12	Can you hear Me?	
授業の進め方・学習方法・課題				13	Christmas in Australia	要約と理解度テスト。語いの増強。
ショートストーリーを読み要約を英語で書く練習をする。要約ができたならグループで話し合い、どの要約が一番適しているかを選び、発表する。  テストで理解度を確認				14	On-line Chatting	
対面授業と遠隔授業の併用実施				15	An Aggressive Woman	
評価方法・成績評価基準				16	An Error	
出席30%、テスト30%、課題40%				17	A Kind Grandmother	要約と理解度テスト。語いの増強。
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18	How to get to the Airport	
				19	A Stupid Thief	
				20	Staying at a Friend's	
				21	Visiting Friends	要約と理解度テスト。語いの増強。
				22	Box Hill Tennis Club	
				23	A Time Sheet	
				24	A Tall Story	
				25	The Worst Memory in the World	要約と理解度テスト。語いの増強。
				26	The E-mail Message	
				27	A Very Patient Family	
				28	Judith's E-mail	
				29	Sarah's E-mail	要約と理解度テスト。語いの増強。
				30	A Letter From Sydney	
				31	The lost Wallet	
				32	How to Make a Prawn Curry	
実務経験教員の経歴				33	The Wrong Thing to DO	要約と理解度テスト。語いの増強。
				34	Review: Uncle Henry's Vacation Video	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第1章 文化	浮世絵、狂言、きもの、書道、 いけばな
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	第1章 文化	
学 年	2学年	担当者	皆川由子 / 小林恵子	3	第1章 文化	
科 目 名	Express Japanese Cultures in English II	週時間数	34単位時間	4	第1章 文化	
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	第1章 文化	
使用テキスト名	世界とくらべてわかる 日本まるごと紹介辞典			6	第1章 文化	剣道、神社、祭り
補助教材				7	第1章 文化	
				8	第1章 文化	
科目概要と科目到達目標				9	第2章 食べ物・飲み物	緑茶、居酒屋、おにぎり、てんぷら、すし
科目概要: 日本文化研究で学んだ知識を参考に、日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。				10	第2章 食べ物・飲み物	
科目到達目標: 実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する				11	第2章 食べ物・飲み物	
				12	第2章 食べ物・飲み物	出汁、精進料理、日本酒、みそ汁
				13	第2章 食べ物・飲み物	
				14	第2章 食べ物・飲み物	
授業の進め方・学習方法・課題				15	第2章 食べ物・飲み物	忍者、皇室、切腹、将軍、温泉、花火
日本文化研究で調べた情報を英語に翻訳				16	Assessment	
想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける				17	Assessment	
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	第3章 歴史・観光	地下鉄、駅弁、侍、城、東京、京都
				19	第3章 歴史・観光	
				20	第3章 歴史・観光	
評価方法・成績評価基準				21	第3章 歴史・観光	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、 わびさび、マンガ
①実習50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	第3章 歴史・観光	
【成績評価基準】				23	第3章 歴史・観光	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第3章 歴史・観光	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第3章 歴史・観光	
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				29	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
実務経験教員の経歴				30	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	Assessment
				31	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				32	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				33	Assessment	Assessment
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学 年	2学年	担当教員	Mark Marin/Sara Cogan	3	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
科 目 名	Presentation II	時間数	34単位時間	4	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
使用テキスト名	Successful Presentations			6	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
補助教材				7	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				8	UNIT 3 Family	Details, Gesture
科目概要と科目到達目標				9	UNIT 3 Family	Details, Gesture
科目概要:グループで紹介したい商品を売り出すための戦略をたてプレゼンテーションを行う。				10	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
科目到達目標:全員でグループになり、戦略をたて、プレゼンテーションを作成することで学生同志の競争力やモチベーションとなり、調べることで英語力が上達し、人前に立つことに慣れ、協調性も芽生える。				11	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				12	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				13	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
				14	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
授業の進め方・学習方法・課題				15	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
テキストに沿ってパラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。				16	Assesment	
				17	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				19	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				20	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
評価方法・成績評価基準				21	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30%				22	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
【成績評価基準】				23	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				29	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				30	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				31	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
実務経験教員の経歴				32	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				33	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Recommending a tour	Listening, Dialogue Study
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Recommending a tour	Speaking Practice, Reading
学 年	2学年	担当教員	マルコス・サラ	3	Taking a tour booking	Listening, Dialogue Study
科 目 名	Hospitality II	時間数	34単位時間	4	Taking a tour booking	Speaking Practice, Reading
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Escourting a tour	Listening, Dialogue Study
使用テキスト名	English for Tourism Professionals			6	Escourting a tour	Speaking Practice, Reading
補助教材				7	Welcoming international Toursts	Listening, Dialogue Study
				8	Welcoming international Toursts	Speaking Practice, Reading
科目概要と科目到達目標				9	Taking an airline reservation	Listening, Dialogue Study
科目概要: サービス業で使う英語表現を学び、反復練習することでサービスで使用する英語力を身に付ける				10	Taking an airline reservation	Speaking Practice, Reading
科目到達目標: 観光業で活かせる実践的な英語スキルを身に付けると同時に、観光英検対策として単語や表現を記憶する。				11	Giving flight information	Listening, Dialogue Study
				12	Giving flight information	Speaking Practice, Reading
				13	Helping passengers check in	Listening, Dialogue Study
				14	Helping passengers check in	Speaking Practice, Reading
授業の進め方・学習方法・課題				15	Assessment	
外資系ホテルや国内の観光業で必要となる英語表現を学び、ListeningやSpeaking活動、ペアワークやグループワークを通して体得する。				16	Assessment	
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	Working at the boarding gate	Listening, Dialogue Study
				18	Working at the boarding gate	Speaking Practice, Reading
				19	Offereing in-flight services	Listening, Dialogue Study
				20	Offereing in-flight services	Speaking Practice, Reading
評価方法・成績評価基準				21	Giving CIQ information	Listening, Dialogue Study
出席30%、課題30%、テスト40%				22	Giving CIQ information	Speaking Practice, Reading
【成績評価基準】				23	Taking a room reservation	Listening, Dialogue Study
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Taking a room reservation	Speaking Practice, Reading
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Welcoming guests	Listening, Dialogue Study
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	Welcoming guests	Speaking Practice, Reading
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Helping guests	Listening, Dialogue Study
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Helping guests	Speaking Practice, Reading
				29	Dealing with complaints	Listening, Dialogue Study
				30	Dealing with complaints	Speaking Practice, Reading
				31	Sending guests off	Listening, Dialogue Study
実務経験教員の経歴				32	Sending guests off	Speaking Practice, Reading
				33	Assessment	
				34	Assessment	



国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学 年	2年	担当教員	阿部/北村/古沢/矢後	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科 目 名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 01 I'm...	日常生活における基本パターン
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Unit 02 I'm -ing	日常生活における基本パターン
学 年	2学年	担当教員	皆川由子/坂上啓貴	3	Unit 03 I'm going to...	日常生活における基本パターン
科 目 名	英語表現Ⅱ	時間数	34単位時間	4	Unit 04 I can't...	日常生活における基本パターン
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit 05 Don't...	日常生活における基本パターン
使用テキスト名	英会話 超リアルパターン500+			6	Unit 06 It's...	日常生活における基本パターン
補助教材				7	Unit 07 Is it...?	日常生活における基本パターン
				8	Unit 08 That's...	日常生活における基本パターン
科目概要と科目到達目標				9	Unit 09 There is...	日常生活における基本パターン
科目概要:日常生活における基本的なフレーズをくり返しパターントレーニングすることにより、ネイティブスピーカーとの会話におけるスムーズな受け答えを目指す。				10	Unit 10 Who	疑問詞パターン
科目到達目標:アウトプットの明確なゴールを設定し、スピーキング能力の工場を目指す				11	Unit 11 what	疑問詞パターン
				12	Unit 12 when & where	疑問詞パターン
				13	Unit 13 why	疑問詞パターン
				14	Unit 14 how	疑問詞パターン
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit 15 how+形容詞/副詞	疑問詞パターン
基本的でかつ使用頻度が高いと思われる表現を身に付ける。くり返しトレーニングすることで、瞬発力を身に付ける。				16	Unit 16 いろいろな感情表現	シチュエーション別必須表現
				17	Assessment	Test
				18	Unit 17 考え・意見を述べる表現	シチュエーション別必須表現
				19	Unit 18 提案する表現	シチュエーション別必須表現
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	Unit 19 義務の表現	シチュエーション別必須表現
評価方法・成績評価基準				21	Unit 20 確信する表現	シチュエーション別必須表現
出席率50%、テスト40%、課題提出10%				22	Unit 21 願望の表現	シチュエーション別必須表現
【成績評価基準】				23	Unit 22 感謝・謝罪の表現	シチュエーション別必須表現
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Unit 23 好き・嫌いの表現	シチュエーション別必須表現
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Unit 24 have p.p.	リアル英会話パターン
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	Unit 25 should have p.p.	リアル英会話パターン
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Unit 26 Let	リアル英会話パターン
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Unit 27 mean	リアル英会話パターン
				29	Unit 28 覚えておきたい重要パターン	リアル英会話パターン
				30	パターンリアル英会話	日常英会話必須パターン
				31	パターンリアル英会話	日常英会話必須パターン
実務経験教員の経歴				32	総復習	
				33	総復習	
				34	Assessment	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1. Food for Life	
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Unit 1. Food for Life	Contrast General and Current Actions Give Details to Support Your Ideas
学 年	2年	担当教員	Mark Marin / Marcos O'Brien	3	Unit 1. Food for Life	
科 目 名	Speaking II	時間数	68単位時間	4	Unit 2. Express Yourself	Talk about Yourself Start a Conversation Give examples
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit 2. Express Yourself	
使用テキスト名	WORLD ENGLISH 2			6	Unit 2. Express Yourself	
補助教材				7	Unit 3. Cities	
				8	Unit 3. Cities	Make Predictions about Your City or Town Evaluate Solutions to a Problem
科目概要と科目到達目標				9	Unit 3. Cities	
英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4. The Body	Discuss Ways to Stay Healthy Talk about Healthy Lifestyles Explain an Idea Using Details
				11	Unit 4. The Body	
				12	Unit 4. The Body	
				13	Unit 5. Challenges	Talk about Facing Challenges Discuss Steps Toward a Goal Describe a Personal Challenge
授業の進め方・学習方法・課題				14	Unit 5. Challenges	
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで、発表しながら基本的な形式をマスターする				15	Unit 5. Challenges	
				16	Unit 6. Transitions	Talk about Different Stages in Your Life Ask Questions to Get More Information
				17	Unit 6. Transitions	
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	Unit 6. Transitions	
				19	Unit 7. Thing that Matter	Discuss Spending Habits Talk about Different Lifestyles Set Priorities
評価方法・成績評価基準				20	Unit 7. Thing that Matter	
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				21	Unit 7. Thing that Matter	
				22	Unit 8. Conservation	Talk about Consequences Describe a Situation Explain a Conservation Issue
				23	Unit 8. Conservation	
				24	Unit 8. Conservation	
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				25	Unit 9. Life Now and in the Past	Discuss Life in the Past Talk about How Things Were Done in the Past Describe a Historical Wonder
				26	Unit 9. Life Now and in the Past	
				27	Unit 9. Life Now and in the Past	
				28	Unit 10. Travel	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				29	Unit 10. Travel	
				30	Unit 10. Travel	
				31	Unit 11. Careers	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
実務経験教員の経歴				32	Unit 11. Careers	
				33	Unit 11. Careers	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	作文と小論文との違い	作文と小論文の違いを学ぶ
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	作文と小論文との違い	作文と小論文の違いを学ぶ
学 年	2年生	担当教員	阿部塊地	3	小論文を書きだす前に	原稿を書く前までのステップを学ぶ
科 目 名	小論文対策Ⅱ	時間数	34時間	4	小論文を書きだす前に	原稿を書く前までのステップを学ぶ
開講期間	通年	単位数	-	5	構成を考える	字数に合わせての段落構成を学ぶ
使用テキスト名	文章表現力基本テキスト			6	構成を考える	字数に合わせての段落構成を学ぶ
補助教材	2020～2021年度大学編入データブック 大学別小論文対策2019			7	文章表現の基本①効果的な句読点の打ち方	読点の打ち方を学ぶ
				8	文章表現の基本①記号の効果的な使い方	記号類の使い方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	文章表現の基本①文体を統一しよう	文体を決めて文章を書いている
科目概要: 小論文基礎演習をマスターし文章力を身につける				10	読ませる文章を書くには	文の第一印象とは何かを学ぶ
科目到達目標: 大学編入に向け、各学部ごとの論述スキルを磨く				11	大学は小論文のここを見る	出題の意図を読み取る
				12	論文に見せる工夫をしよう	漢熟語をうまく使おう
				13	課題文付き小論文の書き方	課題文の読み込みのコツを知る
				14	課題文付き小論文の書き方	書き方のプロセスを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	小論文を書く(人文系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
各国立大学、私立大学の3年次編入に合格するため、学部傾向を把握し、論述スキルを磨く				16	小論文を書く(社会系・時事系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	小論文を書く(社会系・時事系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				18	小論文を書く(理系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				19	小論文を書く(理系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				20	小論文を書く(難関大学 課題文系小論文)	時間内に決められた字数の小論文を書く
評価方法・成績評価基準				21	小論文を書く(難関大学 課題文系小論文)	時間内に決められた字数の小論文を書く
①課題提出率50% ②授業への積極的参加30% ③文章表現力20%				22	小論文を書く(英文系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				23	小論文を書く(英文系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				24	小論文を書く(英文系)	時間内に決められた字数の小論文を書く
【成績評価基準】				25	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
				31	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
実務経験教員の経歴				32	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
通訳案内士実務経験者 専門学校教務常勤経験者				33	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く
貿易会社通訳業務経験者				34	小論文を書く(大学別過去問題)	時間内に決められた字数の小論文を書く

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
学 年	2学年	担当教員	小林恵子 / 阿部塊地	3	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
科 目 名	Writing II	時間数	34単位時間	4	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
使用テキスト名	Skills for Better Writing			6	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
補助教材				7	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
				8	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
科目概要と科目到達目標				9	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
科目概要: テキストに従ってエッセイライティングを学ぶ。 形式と段落、表現方法を身に付ける。 文法的に正しく、論理的で説得力のある文章を目指して多くの課題に挑戦し、 添削を受けることにより文章力、構成力を身に付ける				10	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
				11	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
				12	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
				13	Part 2. 5. Comparison	比較
				14	Part 2. 5. Comparison	比較
授業の進め方・学習方法・課題				15	Part 2. 5. Comparison	比較
形式を学んだ後でエッセイを作成。評価。				16	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
				17	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
				18	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	Part 2. 7. Classification	分類
				20	Part 2. 7. Classification	分類
評価方法・成績評価基準				21	Part 2. 7. Classification	分類
出席30%、テスト30%、課題40%				22	Part 3. 8. History	歴史
				23	Part 3. 8. History	歴史
				24	Part 3. 8. History	歴史
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				25	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				26	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				27	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				28	Part 3. 10. Causes and Effects	原因と結果
				29	Part 3. 10. Causes and Effects	原因と結果
				30	Part 4. 11. Definition of a New Word	新しい言葉を説明する
				31	Part 4. 11. Definition of a New Word	新しい言葉を説明する
実務経験教員の経歴				32	Part 4. 12. Research	調査
				33	Part 4. 12. Research	調査
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習①	復習
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	1年次の復習②	復習
学 年	2学年	担当教員	金相範/ 平山 美果	3	ハングル能力試験4級検定対策①	検定対策
科 目 名	第2外国語 II(韓国語)	時間数	68単位時間	4	ハングル能力試験4級検定対策②	検定対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	ハングル能力試験4級検定対策③	検定対策
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語 初級/ シゴトの韓国語 基礎編			6	ハングル能力試験4級検定対策④	検定対策
補助教材				7	第14課 一緒にお昼を食べましょう①	日常会話
				8	第14課 一緒にお昼を食べましょう②	日常会話
科目概要と科目到達目標				9	第15課 パーティの準備をしています①	日常会話
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする				10	第15課 パーティの準備をしています②	日常会話
科目到達目標:ハングル能力検定試験 4級取得				11	第16課 何も食べられませんでした①	日常会話
				12	第16課 何も食べられませんでした②	日常会話
				13	第17課 陶磁器が見たいです①	日常会話
				14	第17課 陶磁器が見たいです②	日常会話
授業の進め方・学習方法・課題				15	第18課 写真を撮ってもいいですか①	日常会話
テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	前期 復習①	復習
				17	前期 復習② / 期末試験	復習
				18	前期 振り返り	評価
				19	第18課 写真を撮ってもいいですか②	日常会話
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	ハングル能力試験 3.4級検定対策 ①	検定対策
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力試験 3.4級検定対策 ②	検定対策
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力試験 3.4級検定対策 ③	検定対策
【成績評価基準】				23	ハングル能力試験 3.4級検定対策 ④	検定対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第19課 帰国しなければなりません①	日常会話
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第19課 帰国しなければなりません②	日常会話
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	第20課 手紙を書きますよ①	日常会話
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第20課 手紙を書きますよ②	日常会話
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	復習	復習
				29	ビジネスでの自己紹介	ビジネス会話
				30	韓国語の電話対応	ビジネス会話
				31	韓国語でアポイントをとる	ビジネス会話
実務経験教員の経歴				32	後期 復習①	復習
				33	後期 復習②	復習
				34	後期 復習③ / 期末 試験	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習①	復習
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	1年次の復習②	復習
学 年	2学年	担当教員	富田 古沢	3	第1課 中国に行こう①	旅行中国語を学ぶ
科 目 名	第2外国語 II(中国語)	時間数	68単位時間	4	第1課 中国に行こう②	旅行中国語を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2課 ウーロン茶を飲もう①	中国語表現
使用テキスト名	中国語 さらなる一歩			6	第2課 ウーロン茶を飲もう②	中国語表現
補助教材				7	第3課 友達をつくろう①	自己紹介
				8	第3課 友達をつくろう②	自己紹介
科目概要と科目到達目標				9	第4課 長城に登ろう①	旅行中国語を学ぶ
科目概要:文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、 中国で通じる中国語の習得を目指す 科目到達目標:中国語検定4級				10	第4課 長城に登ろう②	旅行中国語を学ぶ
				11	第5課 漢字を覚えよう①	漢字練習
				12	第5課 漢字を覚えよう②	漢字練習
				13	第6課 街を歩こう①	旅行中国語を学ぶ
				14	第6課 街を歩こう②	旅行中国語を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	第7課 スーパーで食品を買う①	日常会話
文法を確認しながら、日常生活で通用する中国語を学ぶ  対面授業と遠隔授業の併用実施				16	前期 復習	
				17	前期 試験	
				18	前期 振り返り	
				19	第5課① 助数詞 家族の呼び方	文法
				20	第5課② 家族構成の尋ね方と答え方	文法
評価方法・成績評価基準				21	第6課① 形容詞の文	文法
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第6課② 反復疑問文	文法
				23	第7課① 時刻の表現	文法
				24	第7課② 前置詞(1) 連動文(1)	文法
				25	第8課① 曜日、月日の言い方	文法
				26	第8課② 年齢の尋ね方と答え方	文法
				27	第9課① 選択疑問文	文法
				28	第9課② 金額の言い方	文法
				29	第10課① 存在を表す「有」と「在」	文法
				30	第10課② 連動文(1)	文法
				31	第11課① 助動詞(2)	文法
				32	第11課② 経験を表す文	文法
実務経験教員の経歴				33	後期 復習	
中国語 通訳案内士実務経験者				34	後期 期末試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	非言語分野『基本計算編』	学校生活について考える
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	非言語分野『基本計算編』	
学 年	2学年	担当教員	阿部塊地	3	非言語分野『基本計算編』	
科 目 名	Liberal Art II	時間数	34単位時間	4	非言語分野『図表関連問題編』	学校生活と海外留学について考える
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	非言語分野『図表関連問題編』	
使用テキスト名	なし			6	非言語分野『図表関連問題編』	
補助教材	SPI問題集(永岡書店)、時事英語			7	非言語分野『思考関連問題編』	海外留学と大学について考える
科目概要と科目到達目標				8	非言語分野『思考関連問題編』	
科目概要:SPI対策 科目到達目標:SPI問題集を時、就職に役立つ一般常識を身につける 英字新聞の記事を読み進め、日本国内及び世界の情勢を知る				9	非言語分野『思考関連問題編』	
科目概要:SPI対策 科目到達目標:SPI問題集を時、就職に役立つ一般常識を身につける 英字新聞の記事を読み進め、日本国内及び世界の情勢を知る				10	非言語分野『事柄関連問題編』	大学の学則について考える
				11	非言語分野『事柄関連問題編』	
				12	非言語分野『事柄関連問題編』	
授業の進め方・学習方法・課題				13	非言語分野『文章理解問題編』	日常生活について考える
非言語分野、言語分野、SPI性格適正検査、SPI模擬試験の分野を各カテゴリーごとに問題集をとき、 復習を繰り返すことで就職試験に対応できるよう集中的に授業を行う。				14	非言語分野『文章理解問題編』	
対面授業と遠隔授業の併用実施				15	SPI性格適正検査	
評価方法・成績評価基準				16	SPI模擬試験	日常生活について考える
出席30%、テスト30%、課題40%				17	SPI模擬試験	
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18	時事英語「新聞記事抜粋」	
				19	時事英語「新聞記事抜粋」	事件について
				20	時事英語「新聞記事抜粋」	
				21	時事英語「新聞記事抜粋」	
				22	時事英語「新聞記事抜粋」	環境について
				23	時事英語「新聞記事抜粋」	
				24	時事英語「新聞記事抜粋」	
				25	時事英語「新聞記事抜粋」	政治・経済について
				26	時事英語「新聞記事抜粋」	
				27	時事英語「新聞記事抜粋」	
				28	時事英語「新聞記事抜粋」	政治・経済について
				29	時事英語「新聞記事抜粋」	
				30	時事英語「新聞記事抜粋」	
実務経験教員の経歴				31	時事英語「新聞記事抜粋」	政治・経済について
				32	時事英語「新聞記事抜粋」	
				33	時事英語「新聞記事抜粋」	
				34	Assessment	



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	歴史(江戸時代)	リサーチ・プレゼンテーション
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	歴史(江戸-明治)	リサーチ・プレゼンテーション
学 年	2学年	担当教員	阿部塊地	3	歴史(明治-大正)	リサーチ・プレゼンテーション
科 目 名	日本文化研究	時間数	17単位時間	4	歴史(大正-昭和初期)	リサーチ・プレゼンテーション
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	歴史(昭和-戦中戦後)	リサーチ・プレゼンテーション
使用テキスト名	新潟県の歴史			6	歴史(昭和-戦後)	リサーチ・プレゼンテーション
補助教材				7	歴史(平成)	リサーチ・プレゼンテーション
科目概要と科目到達目標				8	名所(上越)	リサーチ・プレゼンテーション
				9	名所(中越)	リサーチ・プレゼンテーション
科目概要:新潟県の歴史、文化、名所、習慣を調べ、クラスで共有する 地域に対する理解を深め、地域振興の可能性と問題点を探る 科目到達目標:新潟県に関する知識を深め、日本語、英語で説明できる				10	名所(下越)	リサーチ・プレゼンテーション
				11	名産(上越)	リサーチ・プレゼンテーション
				12	名産(中越)	リサーチ・プレゼンテーション
				13	名産(下越)	リサーチ・プレゼンテーション
				14	北方文化博物館について	リサーチ・プレゼンテーション
				15	北方文化博物館館長の説明	講義
授業の進め方・学習方法・課題				16	北方文化博物館見学	見学
1つのテーマをグループでリサーチし、結果をプレゼンテーションしてクラス内で共有 北方文化博物館を見学し、歴史や当時の暮らしぶりを学ぶ				17	テスト	
対面授業と遠隔授業の併用実施						
評価方法・成績評価基準						
出席30%、テスト30%、課題40%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	【演習】文の内容一致選択 ①	リスニング力を向上させる
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	【演習】文の内容一致選択 ②	リスニング力を向上させる
学 年	2学年	担当教員	阿部 塊地	3	【演習】音読パッセージ問題①	スピーキング力を向上させる
科 目 名	Intensive English II	時間数	34単位時間	4	【演習】音読パッセージ問題②	スピーキング力を向上させる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	短文の語句空所補充①	リーディング力を向上させる
使用テキスト名	Intensive English Student Work Book			6	短文の語句空所補充②	リーディング力を向上させる
補助教材				7	会話の内容一致選択①	リスニング力を向上させる
				8	会話の内容一致選択②	リスニング力を向上させる
科目概要と科目到達目標				9	イラスト問題①	スピーキング力を向上させる
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し総合的な英語力を身に付ける				10	イラスト問題②	スピーキング力を向上させる
様々なシチュエーションに対応できる英語力を身に付ける				11	意見・応答問題①	スピーキング力を向上させる
				12	意見応答問題②	スピーキング力を向上させる
				13	意見応答問題③	スピーキング力を向上させる
				14	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
授業の進め方・学習方法・課題				15	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
語彙、センテンス、リーディングを音読中心に継続して行う				16	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
集中力を高められるよう個々での学習を増やす				17	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				18	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				20	意見応答問題④	スピーキング力を向上させる
評価方法・成績評価基準				21	意見応答問題⑤	スピーキング力を向上させる
①課題提出率50% ② 定期テスト20% ③ 出席率20% ④授業態度10%				22	CALLAN METHOD Lesson 1	会話表現をマスターする
				23	CALLAN METHOD Lesson 2	会話表現をマスターする
				24	CALLAN METHOD Lesson 3	会話表現をマスターする
【成績評価基準】				25	CALLAN METHOD Lesson 4	会話表現をマスターする
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	CALLAN METHOD Lesson 5	状況に応じた返答の仕方をマスターする
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	CALLAN METHOD Lesson 6	状況に応じた返答の仕方をマスターする
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	CALLAN METHOD Lesson 7	状況に応じた返答の仕方をマスターする
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	CALLAN METHOD Lesson 8	問題提起をする
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	CALLAN METHOD Lesson 9	問題提起をする
				31	Revision Exercise 1	様々な状況に応じた質問に返答する
実務経験教員の経歴				32	Revision Exercise 2	様々な状況に応じた質問に返答する
				33	Revision Exercise 3	様々な状況に応じた質問に返答する
				34	Revision Exercise 4	様々な状況に応じた質問に返答する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter 1 1. Vowel & Diphthong Lesson1	母音の発音を理解する
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	1. Vowel & Diphthong Lesson2	母音の発音を理解する
学 年	2学年	担当教員	Tina Koyama/Sara Kristen	3	1. Vowel & Diphthong Lesson3	母音の発音を理解する
科 目 名	Pronouciation II	時間数	17単位時間	4	1. Vowel & Diphthong Lesson4	母音の発音を理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	1. Vowel & Diphthong Lesson5	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Focus on Pronunciation			6	2.Consonants & Semivowels Lesson11	子音の発音を理解する
補助教材				7	2.Consonants & Semivowels Lesson12	子音の発音を理解する
				8	2.Consonants & Semivowels Lesson13	子音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				9	2.Consonants & Semivowels Lesson14	子音の発音を理解する
科目概要: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	Chapter2 1. Stress Pattern Word Stress	イントネーションとアクセントの習得
科目到達目標: ネイティブスピーカーとのコミュニケーションに支障のないレベルの発音を身に付け、日常会話、ビジネスにおけるスムーズな会話を実現する				11	Stress in Word Combination	イントネーションとアクセントの習得
				12	Sentence Stress and Rhythm	イントネーションとアクセントの習得
				13	Rising intonation	イントネーションとアクセントの習得
				14	Rising falling intonation	イントネーションとアクセントの習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review	
CDに合わせて日本人が苦手な母音の特徴を理解し、ネイティブと練習する				16	Review	
				17	Asessment	
				18		
				19		
対面授業と遠隔授業の併用実施				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
定期テストの点数30%、発音の正確さ30%、出席率20%、授業態度20%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	バイデン政権始動	報道に対する多面的な見方と理解				
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	ヘイトクライム	報道に対する多面的な見方と理解				
学 年	2学年	担当教員	阿部塊地 / 古沢通子	3	アフガニスタン動乱	報道に対する多面的な見方と理解				
科 目 名	メディアリテラシー	時間数	17単位時間	4	中国の支配が強まる香港	報道に対する多面的な見方と理解				
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	一帯一路	報道に対する多面的な見方と理解				
使用テキスト名	日本と世界の時事キーワード			6	岸田内閣誕生	報道に対する多面的な見方と理解				
補助教材				7	改憲の論点	報道に対する多面的な見方と理解				
科目概要と科目到達目標				8	消費税	報道に対する多面的な見方と理解				
				9	民間宇宙開発	報道に対する多面的な見方と理解				
科目概要: 報道されている海外や国内のニュースついて、報道内容に留まらず、あらゆるメディアを使用して深読みすることによって、隠されている問題の背景や原因をリサーチすることにより、多面的な見方を習得する。 また、就職活動時に活かせるよう一般知識としてニュース報道を学ぶ				10	スーパーシティ構想	報道に対する多面的な見方と理解				
				11	新型コロナワクチン	報道に対する多面的な見方と理解				
				12	GAFＡ(ガーファ)	報道に対する多面的な見方と理解				
				13	SNSのメディア化	報道に対する多面的な見方と理解				
				14	働き方改革	報道に対する多面的な見方と理解				
				15	外国人労働者	報道に対する多面的な見方と理解				
				16	子供の貧困	報道に対する多面的な見方と理解				
授業の進め方・学習方法・課題				17	テスト	評価				
				18						
				19						
				20						
個人で、あるいはグループで深読みをすることに概要をまとめる。自分の意見や感想を述べられるだけの材料を揃え、授業内で発表する。				21						
				22						
対面授業と遠隔授業の併用実施				23						
				24						
評価方法・成績評価基準  出席30%、テスト30%、課題40%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				25						
				26						
				27						
				28						
				29						
				30						
				31						
				実務経験教員の経歴				32		
								33		
								34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	●業界別メイクの特徴	業界別メイク
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイク
学 年	2年	担当教員	加藤 広美	3	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイク
科 目 名	ビジネスメイクII	時間数	17単位時間	4	●トータルメイクアップ	社会人にふさわしいメイク
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	●トータルメイクアップ	社会人にふさわしいメイク
使用テキスト名	なし			6	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイク
補助教材				7	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイク
				8	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイク
科目概要と科目到達目標				9	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイク
科目到達目標: 自分自身で自分の顔をイメージメイクし社会人にふさわしいメイクを学ぶ				10	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイク
対面授業と遠隔授業の併用実施				11	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				12	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				13	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				14	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
基礎となるベースメイクから業界に応じたビジネスメイクのしかたをそれぞれの学生にあった手入れの仕方を教える				16	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
				17	評価	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
出席率50%、テスト30%、積極性20%				22		
				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
某化粧品会社に勤務経験あり				33		
企業へのマナー研修指導多数				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1. My House	家
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Unit 2. Where is itr?	場所
学 年	2学年	担当教員	皆川由子 / 小林恵子	3	Unit 3. Mom and Dad's House	家屋と日用品
科 目 名	Listening Training	時間数	17単位時間	4	Unit 4. William Parker	人物
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit 5. My Company	会社
使用テキスト名	Listening Elements			6	Unit 6. My Schedule	予定
補助教材				7	Unit 7. When I was young...	思い出
				8	Unit 8. Questions	質問
科目概要と科目到達目標				9	Unit 9. Answeres	答え
科目概要: 日常生活や旅行、オフィスでの会話をくり返し聞くことにより、英語を英語として理解できるリスニング能力を身に付け、英検やTOEIC等の検定対策はもちろんのこと、実際の会話の場面においても聞き返すことなく理解できることを目指す。また自身の発音の改善にもつながるよう努力する。				10	Unit 10. My Office	オフィス
				11	Unit 11. The Travel Agent	旅行代理店
				12	Unit 12. At the Airport	空港
				13	Unit 13. In the Plane	機内
				14	Unit 14. Hotel Check-in	ホテルでのチェックイン
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit 15. I am not satisfied	苦情
単語や文、長い文章でも内容が理解できるように反復して練習する。				16	Unit 16. How was it?	状況説明
				17	評価	
対面授業と遠隔授業の併用実施						
評価方法・成績評価基準						
出席30%、テスト30%、課題40%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-79点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1. Welcome to the Office	自己紹介
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	Unit 1. Welcome to the Office	自己紹介
学 年	2学年	担当教員	Mark M / 真島明子	3	Unit 2. What time do you close?	営業時間
科 目 名	Business Communication	時間数	34単位時間	4	Unit 2. What time do you close?	営業時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit 3. I'd like to Change an Order	発注
使用テキスト名	Business Encouters			6	Unit 3. I'd like to Change an Order	発注
補助教材				7	Unit 4. May I Take a Message?	電話対応
				8	Unit 4. May I Take a Message?	電話対応
科目概要と科目到達目標				9	Unit 5. Shall I Ring That Up for You?	商品案内
科目概要: オフィスでの使用を想定される英単語・表現を学習し、 リスニング能力を身に付け、英検やTOEIC等の検定対策はもちろんのこと、実際の会話の 場面においても聞き返すことなく理解できることを目指す。また自身の発音の改善にも つながるよう努力する。				10	Unit 5. Shall I Ring That Up for You?	商品案内
				11	Unit 6. This Way, Please	案内
				12	Unit 6. This Way, Please	案内
				13	Unit 7. I'd like to Make a Complaint	苦情
				14	Unit 7. I'd like to Make a Complaint	苦情
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit 8. Could you Fill Out This Form?	申請書
オフィスでの使用を想定される英単語・表現を学習し、仕事での使用を想定した実践的な英語スキル を身に付ける。また、TOEICのスコアアップを目指す。				16	Unit 8. Could you Fill Out This Form?	申請書
				17	Assessment	期末テスト
				18	Unit 9. Welcome to Japan	お出迎え
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	Unit 9. Welcome to Japan	お出迎え
評価方法・成績評価基準				20	Unit 10. What's Your Background?	人物背景
出席30%、テスト30%、課題40%				21	Unit 10. What's Your Background?	人物背景
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unit 11. Here's Your Schedule	スケジュール
				23	Unit 11. Here's Your Schedule	スケジュール
				24	Unit 12.I'll See You Tomorrow	別れの挨拶
				25	Unit 12.I'll See You Tomorrow	別れの挨拶
				26	Unit 13. Welcome to the Presentation	プレゼンテーション
				27	Unit 13. Welcome to the Presentation	プレゼンテーション
				28	Unit 14. Would You Use This Product?	商品に対する意見
				29	Unit 14. Would You Use This Product?	商品に対する意見
				30	Unit 15. I think People will Love This!	商品について意見交換
				31	Unit 15. I think People will Love This!	商品について意見交換
実務経験教員の経歴				32	Unit 16. Our Social Media Strategy	ソーシャルメディアストラテジー
				33	Unit 16. Our Social Media Strategy	ソーシャルメディアストラテジー
				34	Assessment	期末テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
科 目 名	世界地理	時間数	34単位時間	4	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
使用テキスト名	JTB総研 海外旅行地理プラクティカル			6	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
補助教材	パワーポイントスライド 各種映像			7	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
				8	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	ハワイ	海外地理知識の習得
海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解				10	オセアニア(オーストラリア)	海外地理知識の習得
世界旅行地理検定の検定取得を目指す。				11	オセアニア(ニュージーランド・ポリネシア)	海外地理知識の習得
難易度の高い分野のため各種映像を積極的に活用した授業展開とする。				12	中南米	海外地理知識の習得
				13	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
				14	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。				16	科目総復習確認試験①	まとめテスト①
定期的に習熟度確認テストと補講を実施し理解度確認と定着を目指す。				17	科目総復習確認試験②	まとめテスト②
				18	旅行地理検定対策	過去問題を活用
				19	旅行地理検定対策	過去問題を活用
				20	旅行地理検定対策	過去問題を活用
評価方法・成績評価基準				21	旅行地理検定対策	過去問題を活用
①定期試験及び地理検定70% ②授業への積極的参加20% ③学習意欲10%				22	旅行地理検定対策	過去問題を活用
【成績評価基準】				23	旅行地理検定対策	過去問題を活用
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	旅行地理検定対策	過去問題を活用
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	旅行地理検定対策	過去問題を活用
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	旅行地理検定対策	過去問題を活用
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	旅行地理検定対策	過去問題を活用
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	旅行地理検定対策	過去問題を活用
				29	旅行地理検定対策	過去問題を活用
				30	旅行地理検定対策	過去問題を活用
				31	各地域を映像で振り返り	ヨーロッパ
実務経験教員の経歴				32	各地域を映像で振り返り	アジア
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	各地域を映像で振り返り	アメリカ
				34	各地域を映像で振り返り	オセアニア・アフリカ



国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	世界遺産を学ぶ意義・目的について	観光資源の中の位置づけと試験対策概要
学 科 名	大学編入科	必須・選択	必須	2	世界遺産(国内)について①(動画視聴含)	訪れたい世界遺産
学 年	2学年	担当教員	矢後 達夫	3	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	佐渡金山(新潟県・県庁より派遣)
科 目 名	世界遺産	時間数	34単位時間	4	世界遺産(国内)について②	前週テスト振り返り
開講期間	前期・後期	授業形態	対面授業	5	世界遺産(国内)について③(動画視聴含)	前週テスト振り返り
使用テキスト名	はじめて学ぶ世界遺産100			6	人類の誕生と古代文明①	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
補助教材	日本の絶景365日・旅に出たくなる地図・パワーポイント スライド ・DVD			7	人類の誕生と古代文明②	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
科目概要と科目到達目標				8	アジア世界の形成と宗教①	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
				9	アジア世界の形成と宗教②	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定の取得を目指す。 地理検定や国家試験での必須項目でもあるため国内の世界遺産を中心に知識定着を図る。(TK1) 観光資源としての魅力も高いため、深く探求することでツーリズムへの興味関心につなげる。 【世界遺産検定】7月・9月・12月・3月(年4回の実施だが、当科としては7月と12月とする)				10	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代①	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				11	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代②	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				12	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動①	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				13	特別講義)遺産登録を目指す自治体の実情を知る	新潟県佐渡や奄美沖繩の取り組みを学ぶ
				14	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動②	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	近代国家の成立と世界の近代化①②	近代国家遺産と現代社会の繋がりを知る
ビデオやネット等の動画視聴も織り交ぜた授業構成とし、テキストだけでなく学ぶ楽しさと理解度を向上を図る。 検定までの期間を中心に定期ミニテストを実施し、理解度チェックや弱点補強の対策の一助とする。 併せて、考える力を身に着けさせるため、副教材も活用し想像力を問う課題及び提出物を実施する。				16	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				17	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				18	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	観光資源と地域への影響度を知る
				19	世界遺産登録と地域との関わりについて①	観光資源と地域との関係性を知る
				20	世界遺産登録と地域との関わりについて②	観光資源と地域との関係性を知る
評価方法・成績評価基準				21	世界遺産登録と地域との関わりについて③	観光資源と地域との関係性を知る
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	世界遺産登録と地域との関わりについて④	観光資源と地域との関係性を知る
				23	まとめ	全体履修内容を振り返る
				24	検定対策	実力判定
				25	検定対策	実力判定
				26	検定対策	実力判定
				27	世界遺産の魅力を知る①	動画視聴等を活用して遺産を探索する
				28	世界遺産の魅力を知る②	動画視聴等を活用して遺産を探索する
				29	世界遺産の魅力を知る③	動画視聴等を活用して遺産を探索する
				30	世界遺産の魅力を知る④	動画視聴等を活用して遺産を探索する
				31	世界遺産の魅力を知る⑤	動画視聴等を活用して遺産を探索する
実務経験教員の経歴				32	世界遺産の魅力を知る⑥	動画視聴等を活用して遺産を探索する
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探索する
				34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探索する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識（目指すもの・評価・検定）自己紹介
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学 年	2年	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
科 目 名	手話入門	時間数	17単位時間	4	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	都道府県①	北海道～北陸地方
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	都道府県②	関東地方～中国地方
補助教材				7	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				8	ゲーム	都道府県 かるた
科目概要と科目到達目標				9	検定対策 6級試験 単語を学ぶ①	6級単語と使いながらロールプレイ
<p>手話検定試験6級取得に向けた授業展開</p> <p>⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。</p>				10	検定対策 6級試験 単語を学ぶ②	6級単語と使いながらロールプレイ
				11	検定対策 6級試験 単語を学ぶ③	6級単語と使いながらロールプレイ
				12	聴覚障がい者の方からの授業	手話を読み取れるか？表現できるか？
				13	手話DVD「オレンジデイズ」	手話の読み取りができるか？
				14	検定対策①	6級試験問題
授業の進め方・学習方法・課題				15	検定対策②	6級試験問題
<p>手話検定6級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。</p> <p>○対面授業と遠隔授業の併用実施</p>				16	検定対策③	6級試験問題
				17	手話検定試験6級	検定試験
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
<p>①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-79点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	レクリエーション①：マフィアゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択必須	2	レクリエーション②：ライヤーゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
学 年	2年	担当教員	金相範	3	指導体験①：マフィアゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
科 目 名	韓国コミュニケーション実践演習	時間数	17単位時間	4	指導体験②：ライヤーゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	レクリエーション③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	韓国民族遊び体験
使用テキスト名	韓国ボードゲーム			6	レクリエーション④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	韓国民族遊び体験
補助教材	Youtube動画資料			7	指導体験③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				8	指導体験④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
科目概要と科目到達目標				9	レクリエーション⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマーブル)	韓国ボードゲーム体験
<p>韓国は高い教育熱の裏側に、習い事ばかり強いられ、人々との付き合いの苦手な若者が物凄く多い。この授業でコミュニケーション能力向上と韓国の文化体験を目標に、韓国の大学や企業でよくあるレクリエーションを予め体験し、さらに、習った内容を自ら教えてみることで、進路に悩む学生に「講師」というお仕事体験もできるようにする。</p>				10	レクリエーション⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	韓国ボードゲーム体験
				11	指導体験⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマーブル)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				12	指導体験⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				13	レクリエーション⑦：韓国大学・企業のOTで行うゲーム	韓国大学・企業のOTでするゲーム体験
				14	レクリエーション⑧：韓国大学・企業のOTで行うゲーム	韓国大学・企業のOTでするゲーム体験
授業の進め方・学習方法・課題				15	指導体験⑦：韓国大学・企業のOTでするゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
2週間韓国のレクリエーションを教え、2週間学生が直接講師として指導する。				16	指導体験⑧：韓国大学・企業のOTでするゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
チームを4組もしくは8組に分け、順番通りレクリエーションの講師として、学習した内容に基づいて指導してみる。				17	韓国レクリエーション講師体験で感じたことについてレポート作成	
ボードゲームなど韓国語の知識がかなり必要なものは、アジア言語科の学生に担当させ、						
言語知識があまりなくてもできる授業は、他学科の学生に指導体験をさせる。						
評価方法・成績評価基準						
①授業への積極的参加60% ②レポート課題20% ③出席率20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	挨～牙	演習
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	瓦～嗅	演習
学 年	2年	担当教員	阿部塊地	3	復習テスト	テスト及び解説
科 目 名	漢字演習	時間数	17単位時間	4	巾～喉	演習
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	乞～腫	演習
使用テキスト名	硬筆書写技能検定公式テキスト			6	復習テスト	テスト及び解説
補助教材	なし			7	呪～膳	演習
				8	狙～椎	演習
科目概要と科目到達目標				9	復習テスト	テスト及び解説
ワープロソフトで文書を作成することが多くなり、自動変換機能の支援により現代人はますます漢字が書けなくなっている。社会人のための一般教養として漢字を学び、語彙を増やすことにより豊かな表現力を養う。				10	爪～鷹	演習
				11	剥～壁	演習
				12	復習テスト	テスト及び解説
				13	蔑～治	演習
				14	弥～脇	演習
授業の進め方・学習方法・課題				15	復習テスト	テスト及び解説
全ての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使うことを目標として練習問題と暗記をくり返し、最終的には漢字検定2級合格を目指す。  対面授業と遠隔授業の併用実施				16	読み・部首・熟語・四字熟語・対義語・類義語	演習
				17	同音・同訓異字・誤字訂正・送り仮名	演習
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択必須	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
学 年	2学年	担当教員	古沢 通子	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
科 目 名	現代文学研究	時間数	17単位時間	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
科目概要と科目到達目標				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
2022年本屋大賞2位作品を読み解く。				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめて発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
授業の進め方・学習方法・課題				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。				17	まとめ	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Introduction to Movie Making	Technics, examples and plot
学 科 名	大学編入科	必須・選択	選択	2	Story-Boarding	Create Movie groups; Create a movie scenario
学 年	2年生	担当教員	マーク マリン	3	Story-Boarding Finish	Complete scenario writing
科 目 名	Making Movies	時間数	17単位時間	4	How to film from a story-board; Camera technics	Camera technics; lighting; perspective; sound
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Shoot Movie Plan; Saving Data	How to shoot scenes; save data; editing
使用テキスト名	教材はすべて講師が用意			6	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
補助教材				7	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
				8	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
科目概要と科目到達目標				9	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
ムービー制作の基本原理を習得。 自分のスマートフォンをムービー制作の道具として活用する方法を紹介。				10	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
				11	Complete movie shoot; gather all data	Begin final edit process; sound editing
				12	Complete movie shoot; gather all data	Continue final edit process; sound editing
				13	Adding Graphics	Learn how to add graphics; titles; credits; etc.
				14	Adding Graphics	Continue graphics; titles; credits; etc. editing
授業の進め方・学習方法・課題				15	Final edit; pre-showing	Check final edit and show movie; assess final product
ムービー制作のデバイスとして、各自が所有するスマートフォンを使用。 ストーリーボードを使って映画のプロットを作成し、映画制作のタイムラインを計画。 グラフィックは、生徒用ムービーを上映する前の最終編集で追加される予定。				16	Final edit; pre-showing	Final edit and movie assessment
				17	Student Movie Festival	Show all student movies
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 % ②授業への積極的参加(出席率) % ③提出物 % ④学習意欲 %				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
Teacher has extensive experience with movie making and sound production.				33		
また、映画制作や音響制作の講師としても経験を積んでいる。				34		